



新とちぎ観光立県戦略

令和3(2021)年3月





私たちを取り巻く社会・経済環境は、人口減少・少子高齢化の進行、社会経済のグローバル化の進展、未来技術の活用、地球温暖化に伴う気候変動など、時代の大きな変化の中にあります。

このように社会経済情勢が大きく変化する中、県では、「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」をめざす将来像とする「とち

ぎ未来創造プラン」を策定したところです。

プランでは、将来像の実現に向けた取組の一つとして、選ばれる観光地づくりや観光誘客を推進する観光立県躍進プロジェクトに取り組むこととしております。

これまで、本県では、“観光立県とちぎ”を目指し、多くの皆様の御協力のもと、「本物の出会い栃木」デスティネーションキャンペーンの展開や、インバウンド誘客施策などに積極的に取り組み、その結果、観光客入込数、外国人宿泊数及び観光消費額が過去最高となるなど、大きな成果を上げてきました。

しかし、令和2（2020）年に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、本県の観光関連産業全体は大きな打撃を受け、大変厳しい状況に置かれています。

こうした状況を踏まえ、早期の観光需要の回復、「新しい生活様式」に対応した受入態勢の整備を含めた更なる観光振興を図るため、本県が今後5年間に取り組むべき施策の方向性を明らかにするとともに、県、市町、観光関連団体、観光事業者、交通事業者、県民等が互いに協働して取り組むための新たな指針として「新とちぎ観光立県戦略」を策定しました。

本戦略では、優れた観光資源の掘り起こし・磨き上げ、そして効果的な情報発信により、本県の魅力が向上し、認知され、国内外から多くの観光客が訪れ、賑わいで溢れている観光地を目指すべき将来像とし、その実現に向け、選ばれる観光地づくりの推進や観光客受入態勢の整備、国内外の観光客の誘客強化などに取り組むこととしています。

本県には、日光国立公園をはじめとした四季折々の美しい自然や、悠久の歴史を伝える世界遺産・日本遺産、多様な農産物を活かした食文化や豊富な温泉など、世界に誇る「本物」の観光資源が数多くあり、それらを守り伝えるとともに、新しい価値を生み出し、おもてなしの心で出迎える「人」たちがいます。

こうした本県の魅力を最大限に活かし、「観光立県とちぎ」づくりを引き続き展開して参りますので、県民の皆様をはじめ関係各位の御理解と御協力を心からお願いいたします。

令和3（2021）年3月

栃木県知事 福田 富一

目次

I	新とちぎ観光立県戦略策定の趣旨等	
1	策定の趣旨	1
2	位置づけ	1
3	計画期間	1
II	本県観光を取り巻く社会経済情勢の変化	
1	国内観光需要の減少	2
2	観光業における担い手不足	3
3	技術革新とデジタル社会の到来	3
4	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響	4
5	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催等	5
III	本県観光の現状	
1	国内旅行者の傾向等	6
2	外国人旅行者の傾向等	13
IV	本県観光の強みと課題等	
1	観光人材の育成と確保、DMOの形成促進に向けて	20
2	受入環境の整備・充実強化に向けて	20
3	観光地の魅力向上に向けて	20
4	情報発信・誘客宣伝の強化に向けて	21
V	目指すべき将来像	22
VI	数値目標	22
VII	施策展開	23
1	選ばれる観光地づくりの推進	26
2	観光客受入態勢の整備	29
3	国内観光客の誘客強化	32
4	外国人観光客の誘客強化	36
VIII	新とちぎ観光立県戦略の推進に向けて	
1	推進にあたっての各主体の役割・責務	41
2	庁内の推進体制、進行管理	42
[附属資料]		
1	策定経過	43
2	栃木県観光振興計画策定懇談会委員名簿	44
3	栃木県観光振興計画策定懇談会設置要綱	45

表紙写真

・紅葉のいろは坂 [Photo by DjHiRo] ・男体山と華厳滝 ・那須温泉 鹿の湯 ・大谷資料館
・とちぎのいちご・真岡鐵道SL・桜・菜の花街道